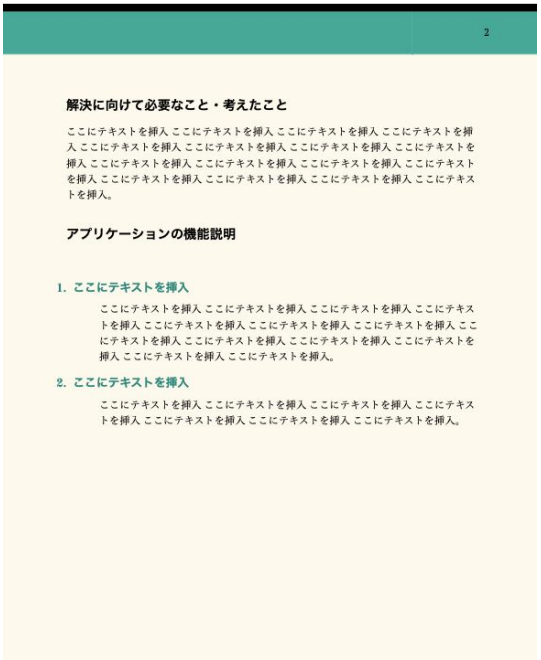
【教科・学年・科目】芸術・2年・工芸 Ⅱ
【授業者】小松 俊介
【授業形態】動画配信

【授業の紹介】アプリケーションの企画とロゴデザイン

コロナ禍における社会問題や身近な問題を解決に導く（貢献する）アプリケーションをデザインする。自分なりの視点で社会問題に目を向け、解決へ導く手立てを考案するまでの道筋をアプリケーションデザインという形で表現する。ただし、実際に開発するところまでは授業では扱わない。様々なテクノロジーに視野を広げ、実現可能な範囲で企画する。生徒が着目する問題への視点や、解決へ向かうためのアイデアを重要視する。生徒は、そのアプリケーションの内容についてGoogleドキュメントのテンプレートに、①アプリケーションの名称、②アプリの概要、③注目した社会問題、④アプリの機能、⑤概念図の順に企画書を作成する。その上で、企画内容にあったアプリケーションのロゴデザインを行う。ロゴデザインは、Googleスライドの作図機能を応用して作成する。動画配信の形式で各自操作方法を習得し、ロゴデザインを考える。企画書とロゴデザインの２つを評価対象とする。

【備考】
Googleドキュメントで作成した（テンプレート）の校章部分にデザインしたロゴを差し込む。
【動画URL】
https://drive.google.com/file/d/1PeEOuR57MZN6kdx9nFwDsDiPSl6A8xHg/view?usp=sharing